

国語①	今週の学習	こんぎつね (教科書下P8~25)	できたら チェック
	今週の宿題	●音読「山ねこ、おことわり (後半)」 (教科書上P131~132) ●日記 ●ドリルの王様P42 (手と心で読む)、P46 (山ねこ、おことわり)	
	来週の学習	こんぎつね	
国語②	今週の学習	4年生の新出漢字 (希・望・士・脈・徑・紀)	できたら チェック
	今週の宿題	「漢字の学習」の終わらなかつたところ、次週の漢字テストの練習	
	来週の学習	4年生の新出漢字 (氏・兆・億・料・課・不)	
算数	今週の学習	計算のやくそくを調べよう (P2~6)	できたら チェック
	今週の宿題	算数ドリル (下) 2~4	
	来週の学習	計算のやくそくを調べよう (P2~6)	
理科 (選択)	今週の学習	動物のほねときん肉 (P80~83)	できたら チェック
	今週の宿題	ドリルの王様P34 32ヒトの体と動物の体	
	来週の学習	半月の動き (P) 84~88	
社会 (選択)	今週の学習	教科書 (3・4年下) p70~75	できたら チェック
	今週の宿題	教科書 (3・4年下) p76~79の音読と語句ノート、ドリルの王様P25、26	
	来週の学習	教科書 (3・4年下) p76~79	

お知らせ

音読の宿題

おうちの人に聞いてもらって、読み終わったら書いてもらいましょう。1日1回を目標に!

	読んだところ	回数	最高!!◎ いいね!○ がんばろう△			おうちの人の サイン
			声の大きさ	読むはやさ	気持ち	
土	「山ねこ、おことわり (後半)」 (教科書P131~132)					
日	//					
月	//					
火	//					
水	//					
木	//					
金	//					

西大和学園補習校四年
漢字テストはんい

17	10月3日 配布 10月10日 テスト
①	きしょう せいぶつ 希少な生物
②	けいわ のぞ 平和を望む
③	つよ りきし 強い力士
④	ひだか さんみやく 日高山脈
⑤	えん はんけい 円の半径
⑥	きこうぶん よ 紀行文を読む
⑦	うんてんし 運転士になる
⑧	きぼう 希望をもつ
⑨	にじゅういつせいぎ 二十一世紀
⑩	えん ちよっけい 円の直径

西大和学園補習校四年
漢字テスト

名前	
①	きしょう な せいぶつ
②	けいわ を のぞむ
③	つよ りきし
④	ひだか さんみやく
⑤	えん の はんけい
⑥	きこうぶん を よむ
⑦	うんてんし になる
⑧	きぼう を もつ
⑨	にじゅういつせいぎ
⑩	えん の ちよっけい

西大和学園補習校四年 漢字テスト	
16 名前	
①	さむい きこう
②	しょうか きかん
③	えいご を まなぶ
④	こうかい に できる
⑤	どうひょう で きめる
⑥	きょう な いちうと
⑦	てんこう が わるい
⑧	がいこうかん に あう
⑨	りっこうほ する
⑩	えいかいわ きょうしつ

10月3日テスト

西大和学園補習校四年 漢字テスト	
16 名前	
①	さむい きこう
②	しょうか きかん
③	えいご を まなぶ
④	こうかい に できる
⑤	どうひょう で きめる
⑥	きょう な いちうと
⑦	てんこう が わるい
⑧	がいこうかん に あう
⑨	りっこうほ する
⑩	えいかいわ きょうしつ

ほねときんにくのはたらき

わたしたちのほねやきん肉はどのようになっているのでしょうか

1. 人のからだのほね

人のからだは大小() あまりの骨が組み合わさってささえている。それぞれの骨のはたらきはみな違っており、それに応じて()や()もちがう。

2. おもなほねのようす

- ① 背骨： 短いつつのような骨がたくさんつながっていて、少し曲がるようになっている。
- ② 頭骨： 平らなほねが何まいかつながっていて、球形をした入れ物のような形になり、脳をまもっている。
- ③ 肋骨： 半円形の骨がかごのように組み合わさって、肺や心臓を守っている。
- ④ 骨盤： 腰のところにあり、入れ物のようにになっているおおきな骨で、腸を守っている。
- ⑤ 手や足の骨： 手や足は、細いぼうのような骨がいくつもつながってできている。
1本の手や足には、大小合わせて30個ほどの骨がある。これらはたがいに関節でつながっているので、よく動く。

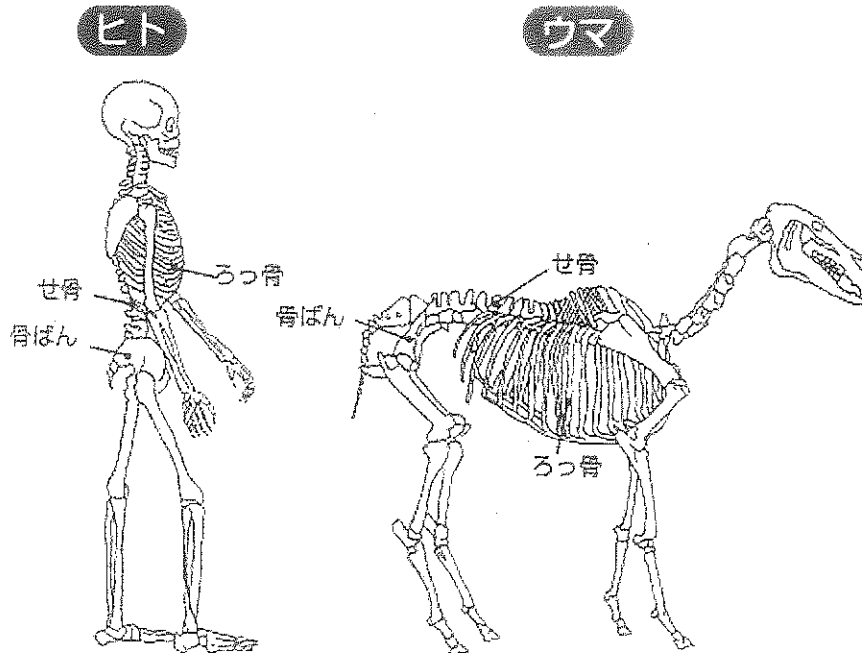
3. ほねのはたらき

つぎのはたらきをする骨の種類を書きましょう。

- ① からだをささえる。()
- ② 大切な器官を守る。()
- ③ 運動をする。()

ひと ^{ほねく} 人の骨組みは、他の動物とどんなところがちがうのだろうか。

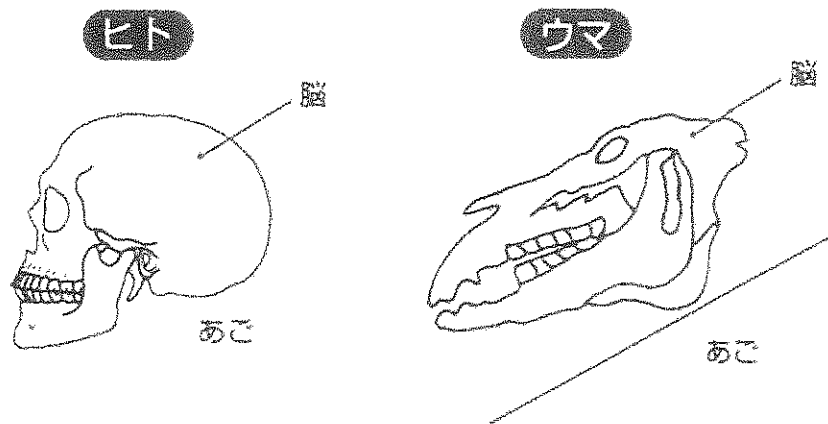
1. 体全体の骨組みのちがい



2本足で歩くヒトは ^{ある} 体を ^{からだ} ささえるために、^{せほね} 背骨が () にまがっている。

4本足で歩く動物の背骨は、^{ある} 地面と ^{どうぶつ} ^{せほね} ^{じめん} ほぼ () でまっすぐである。

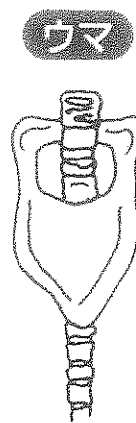
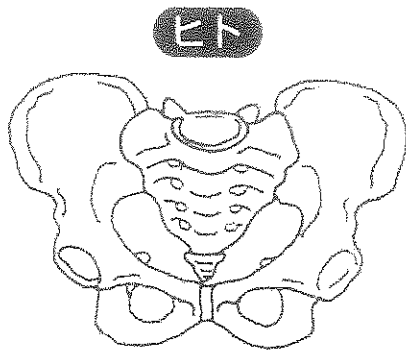
2. 頭部のちがい



ヒトの ^{あたま} ^{ぶぶん} 頭の部分は、上のほうが大きくなっていて、^{はつたつ} 発達した大きな () が入っている。

ウマは、^{のう} 脳が入るところは小さくても、物を食べるための () が大きく ^{はつたつ} 発達している。

3. ^{こつばん}骨盤のちがい



ヒトの骨ばんは、重い（ ）をささえるために広がっている。
ウマの骨ばんは、（ ）をささえなくてもよいので、とても小さくなっている。

☆犬の骨格はどうなっているだろう。 ^{もうそつ}想像してかいてみよう。

☆プリントの図と比べてみよう。（あとでくべります。）

動物と人の体のつくりを、足に注目して比べてみよう。

人のひざは、体の前の方に曲がっている。ウマは、後ろ足のこの部分が、体の後ろに曲がっている。

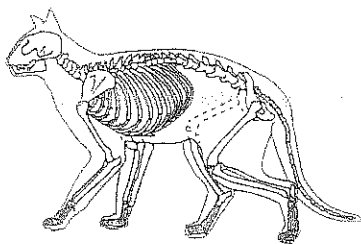
犬、ネコ、ライオンも同じである。人とは作りが違うようだ。「ほね」を見てみよう。

ウマの後ろ足の「ほね」。後ろに曲がっている部分は、この位置。犬、ネコ、ライオン、すべて後ろに曲がった部分がある。人と動物で、何がちがうのだろうか。ウマと人の足の「ほね」を比べてみよう。

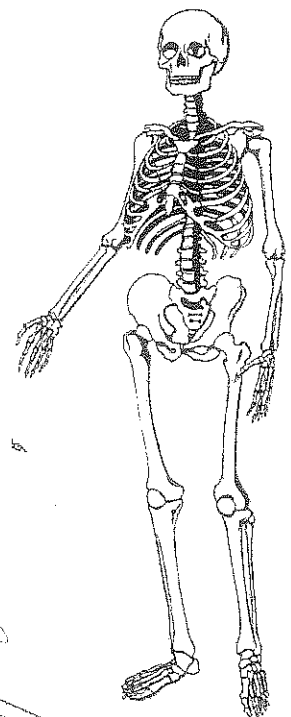
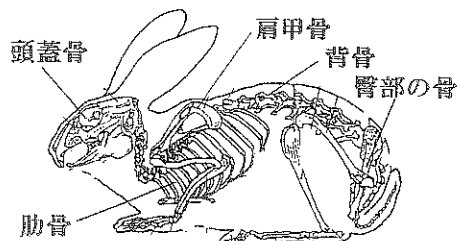
人は、足のつけねから数えて1番目の関節がひざ、2番目の関節は足首である。ウマは、足の付け根から数えて、1番目の関節がひざ、後ろに曲がっていた部分は、2番目の関節、人でいえば足首にあたる部分である。

ウマの後ろ足は、人で言えばカカトを高く上げてつま先で立っているような状態である。ウマの体のひざのように見えるのがカカトである。足の「ほね」を比べると、人と動物では、体のつくりが違うことが分かる。

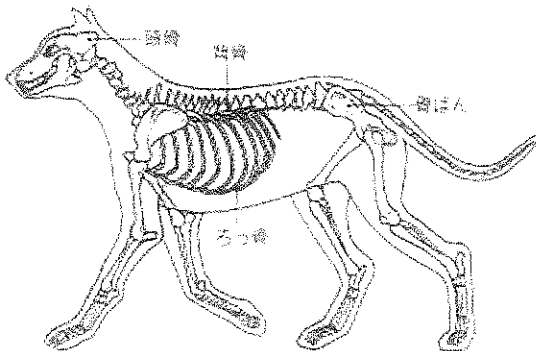
ネコ



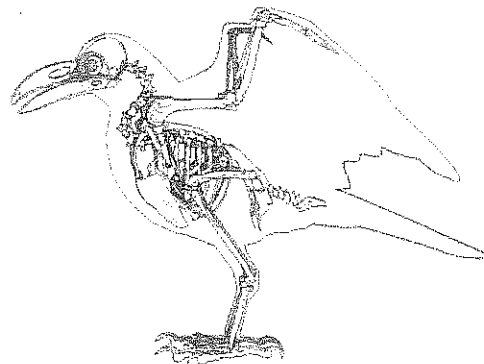
ウサギ



イヌ



カラス



動物は、種類によって、きん肉などのようすがちがう。

たとえば、ウサギは後ろ足が長く、よくはたつしたきん肉があるので、はねるように走ることができる。

☆分かったこと

動物の体にも人と同じように、()、()、()が体のいろいろなところにある。

また、これらの()や()、()によって体を動かすことができる。